

# 御笠川・牛頸川・平野川フェスタ 実行委員を募集します

御笠川・牛頸川・平野川フェスタは、河川敷のごみを拾う市民参加のクリーンウォークです。清掃や生息する動植物の観察を通して、川を愛し親しむ心を育てることを目的としています。

実行委員として、皆さんのアイデアや想いを企画と運営に生かしてみませんか。

●フェスタ開催日 11月6日(日)

●対象者 フェスタ開催日と実行委員会(7~11月の会議)に出席できる人

※会議は、平日夜間を予定



●申込方法 電話

●申込期限 6月30日(木)

●申し込みと問い合わせ先

御笠川・牛頸川・平野川フェスタ実行委員会事務局(循環型社会推進課内)

☎(580)1887

## ホタル見学会中止

牛頸川でホタルの飛び交う季節が近づいていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の見学会を中止します。

臨時駐車場も設けませんので、注意してください。

●問い合わせ先

◇循環型社会推進課ゼロカーボン推進担当 ☎(580)1886

◇牛頸ホタル部会(牛頸公民館内)

☎(596)3513

## あけてみよう！歴史のとびら 調査担当者が語る！大野城発掘物語

152

〈独り立ちはこちらが先か(平野遺跡発掘調査)〉

市の南部にある平野神社の大きなクヌギ。毎年そこにはアオバズクが飛来します。アオバズク夫婦の間にヒナが4羽産まれたころ、私は神社の目の前で発掘調査を行いました。

神社の周辺には、平野遺跡という遺跡が広がっています。平野遺跡はこれまで1回しか発掘調査が行われておらず、遺跡の性格は謎に包まれていました。そんな遺跡の調査の主担当に任命されたのは入庁2年目のこと。初めて主担当を務める現場、独り立ちへの第一歩です。

その年の6月、調査を進めていくと、大小さまざまな穴がたくさん見つかりました。柱を据えた穴で、住居などの建物が複数あったと考えられます。こうした穴からは土師器(国産の素焼きの食器)や中国から輸入された陶磁器などが出土しました。時期は鎌倉から室町時代。中世の村の一部が見つかったのです。

調査も終盤に差し掛かった時、「あれ、これは何でしょう。」と作業員の声が聞こえます。見てみると須恵器(古墳時代中期に朝鮮半島から伝わった焼き物)の甕の

中に食器がたくさん入っているではありませんか。時期は飛鳥時代のものでした。「現場終盤ほど、予期しないことが起こるんだよ。」笑いながらそう話していた先輩たちの顔が脳裏に浮かびます。

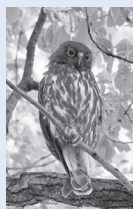
大急ぎで写真・図面などの記録を取り、7月末に無事に調査を終えることができました。そのころ、平野神社で産まれたアオバズクのヒナたちも巣立ちの時期を迎えていました。

独り立ちできたのは、私が先かアオバズクのヒナが先か。きつとヒナが先でしょう。今年はこの発掘調査の成果を報告書にまとめる年です。報告書を一人で作成するのも初めてのこと。

私の独り立ちへの道のりは、まだまだ続きます。

●問い合わせ先

心のふるさと館文化財担当(心のふるさと館内) ☎(558)2206



アオバズク※

※後藤健太郎さん撮影



調査風景